

川崎市市民ミュージアム 2019年9~12月の企画展

川崎で実際に使われていた生活道具を中心に100点以上を展示!

昔のくらしと家庭の道具2019



昔のくらしと家庭の道具 2019

川崎市市民ミュージアム
アートギャラリー 2・3

【開催時間】9時30分~17時(入場は閉館の30分前まで)
【休館日】毎週月曜日(ただし9月16日、9月23日、10月14日、11月4日は開館)
9月17日(火)、9月24日(火)、10月23日(水)、11月6日(火)
◎ 川崎市市民ミュージアム

2019年9月3日(火)~12月1日(日)

観覧無料

川崎市市民ミュージアム
〒210-0202 川崎市川崎区本町4-1-1(川崎区役所内)
TEL: 044-274-4500 FAX: 044-274-4528 <http://www.kawasaki-museum.jp/>

2019年9月3日(火)~12月1日(日)

川崎市市民ミュージアム アートギャラリー 2・3 **観覧無料**

この度、当館では大正から昭和にかけての人々のくらしの変化について、生活道具のうつりかわりから紹介する企画展「昔のくらしと家庭の道具2019」を開催します。

今から100年前、電気やガス、水道といった、現代生活に不可欠なライフラインの多くがすでに登場していました。しかし、一方で多くの人々はまだ、くらしに必要なことを手作業で行っていました。

戦後、1955年から73年にかけて高度経済成長期を迎え、世の中が豊かになってくると、人々のくらしは大きく変わりました。各家庭にライフラインや電化製品が行きわたるようになり、家事はこれまでと比べて手間も時間もかからないものへと変わっていきます。

本展では、こうした人々のくらしと家庭の変化について、生活道具の展示、茶の間や囲炉裏の再現模型、体験コーナーなどによってご紹介します。会場の展示資料はすべて当館の所蔵品であり、その多くはかつて川崎市域で実際に使われていたものです。本展が市民の方々にとって、川崎市の歴史・文化への関心を深める機会になることを目指し、貴重な地域資料を公開します。

展示構成

1章 大正～昭和初期（約70～100年前）

【かまど[復元模型]、長火鉢、囲炉裏[再現模型]、茶の間[再現模型]など】

2章 昭和30年～50年代（約40～60年前）

【冷蔵庫、電気洗濯機など】

3章 昔の道具体験コーナー



掛時計

見どころ

子どもたちに人気の「昔の道具体験コーナー」が今年も登場！

過去開催時、来館者に好評だった体験コーナーを今年も設置します。本コーナーでは現代の子どもたちを主なターゲットとし、足踏みミシン、つるべ井戸、黒電話、洗濯板とたらいなど、実際の生活道具や復元模型にふれてもらうことで、昔のくらしをより深く理解できる構成となっています。大人や家族連れの方もご一緒にお楽しみいただけます。



「昔の道具体験コーナー」
過去開催時の様子

関連上映「日本映画傑作選 ビデオ上映一昔のくらし特集」開催！

当館所蔵のビデオ「喜劇ア・ラ・カルト」シリーズより3作品を上映します。日本の喜劇映画を通じて、昭和10～30年代の生活風景を知ることができます。

■ 上映スケジュール <各日 ①10:30～ ②14:00～>

9月6日（金）『ロッパの新婚旅行』

（東宝/昭和15年/66分/モノクロ/監督：山本嘉次郎）

10月4日（金）『結婚行進曲』

（東宝/昭和26年/83分/モノクロ/監督：市川崑）

11月1日（金）『駅前旅館』

（東宝/昭和33年/109分/カラー/監督：豊田四郎）

会場：3F ミニホール **入場無料**

定員：40名（当日先着順）

関連講座「『音』でたどる川崎の祭礼と民俗芸能」開催！

川崎市には、獅子舞や祭囃子（神楽）など、約30の無形民俗文化財があります。身近にある伝統行事がいつ頃から地区に伝わり、どのような目的で受け継がれてきたのか。その特徴や開催時期をふまえながら、川崎の祭礼と民俗芸能について、詳しく紹介いたします。

■ 伝統芸能講座「『音』でたどる川崎の祭礼と民俗芸能」

講師：^{かわさきみずほ}川崎瑞穂氏 [神戸大学・日本学術振興会特別研究員 PD]

① 9月28日（土）獅子舞について

② 9月29日（日）神楽について（ゲスト講師：宮内祭囃子保存会）

<各日 14:00～15:30>

会場：3F ミニホール/定員：40名

参加費：一人300円（中学生以下無料）/事前申込制（抽選）

申込期間：8月21日（水）～9月18日（水）



「菅の獅子舞」 撮影:川崎瑞穂



「禰宜舞」 撮影:川崎瑞穂

関連イベント

■ ギャラリーツアー

日時：毎月第3日曜日（9月15日、10月20日、11月17日）各日14：00～（30分程度）

会場：2F アートギャラリー2・3／当日直接会場へ

■ ベビーカーツアー

日時：11月7日（木） 11：45～（30分程度）

会場：2F アートギャラリー2・3

対象：未就学児とその保護者／定員：6組程度／参加費：無料／事前申込制（抽選）

申込期間：10月1日（火）～10月29日（火）

開催情報



- 展覧会名 昔のくらしと家庭の道具2019
- 会 期 2019年9月3日（火）～12月1日（日）
- 休 館 日 毎週月曜日（ただし9月16日・23日、10月14日、11月4日は開館）
9月17日（火）、24日（火）、10月23日（水）、11月5日（火）
- 開館時間 9：30～17：00（入場は閉館の30分前まで）
- 会 場 川崎市市民ミュージアム アートギャラリー2・3
- 観 覧 料 無料
- 主 催 川崎市市民ミュージアム

《同時期開催 企画展》

「のらくろであります！ 田河水泡と子供マンガの遊園地」

ワンダーランド

9月18日（水）～11月24日（日）／企画展示室1、アートギャラリー1／一般700円ほか

〈川崎市市民ミュージアム 施設概要〉

多彩な表情を持つ都市、川崎。川崎市市民ミュージアムは、「都市と人間」という基本テーマを掲げて1988年11月に開館した博物館と美術館の複合文化施設です。

★川崎市市民ミュージアムは、都市・川崎の歩みを示す歴史資料をはじめ、時代性や社会動向を敏感に反映する大衆芸術、複製技術芸術（漫画・写真・版画・ポスター・映像など）を、日本で初めて総合的にコレクションする館として、創立されました。現在もその収蔵品数は全国最大級となる約26万点を誇ります。



- 住所／〒211-0052 神奈川県川崎市中原区等々力1-2（等々力緑地内）
- 開館時間／9:30～17:00（入場は閉館の30分前まで）
- 休館日／月曜日（休日の場合は開館）、休日の翌日（土日の場合は開館）、年末年始
- 料金／入館・博物館展示室は無料。企画展、アートギャラリー展は展覧会によって異なる。
* 障害者手帳等をお持ちの方およびその介護者は企画展観覧無料。
* 20名以上の団体でご利用いただく場合、割引有。
- アクセス／JR・東急「武蔵小杉」駅北口1番乗り場からバスで約10分
「市民ミュージアム前」下車すぐ

広報用画像一覧

画像の使用を希望される方は、川崎市市民ミュージアム広報担当宛にご連絡ください。

■ 素材使用に関して

- ・今回ご提供する素材の使用は、本展覧会を紹介していただける場合に限りです。展覧会終了後の使用は一切できません。
- ・本プレスリリース内にある画像素材は全てご提供可能です。お気軽に広報担当宛にご連絡ください。
- ・画像を使用する際は、クレジットとして「川崎市市民ミュージアム蔵」を必ずご記載ください。
- ・記事をご掲載いただいた際には、お手数ですが掲載紙（誌）を1部当館広報宛にご送付ください。

1. ハタキ	2. 吊り下げ電灯	3. ラジオ
		
4. 茶箆筒	5. 座布団	6. 掛時計
		
7. 踏み台	8. ちゃぶ台	9. 違い棚
		

■ 展覧会メインビジュアル（横・縦）

- ・下記画像を使用する際は、クレジット明記は必須ではありません。



【プレスリリースお問い合わせ】川崎市市民ミュージアム 営業・広報担当 久保

TEL : 044-754-4500 (休館日を除く 9:30~17:00) FAX : 044-754-4533

MAIL : pr_kcm@kawasaki-museum.com

HP : <http://www.kawasaki-museum.jp/> * 指定管理者：アクティオ・東急コミュニティー共同事業体